

問一 次は高野切第三種にみられる連綿です。正しく軽快に連綿しなさい。

あ
う
か
よ
ま

あ
う
か
よ
ま

問二 次の文章を、漢字は楷書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

武蔵野に散歩する人は、道に迷うこと苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

国木田独歩著「武蔵野」より

問三 次の文章を、漢字は楷書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

むしろ危険は、当然なすべき懐疑をなさないで漠然たる不安の中に生きることである。我々は無用な不安の中に生くべきではない。しつかりした中核的思想を抱いて、価値ある懐疑をしなければいけない。

スピノザの文章より

問四 次の集王聖教序を、解答欄の大きさにあわせて調和よく[※]臨書しなさい。

※臨書…古典の字形や線などの特徴を捉えて書くこと

暮 飛 途 間 失 地

(暮飛途間失地)

問五 次の平仮名、片仮名の字源（平仮名、片仮名のでぎるもとの漢字）を、楷書で書けなさい。

は な ひ ら く
ミ ノ サ チ